



1. 幅広いアプローチ活動の進捗状況

6月に開催された第1回幅広いアプローチ(BA)運営委員会での種々の決定事項等を受けて、3つの事業の実施が開始されている。具体的には、それぞれの事業長が各事業の暫定作業計画に従い、設計や設備の調達を開始し、事業チームの体制を整備しつつある。また、11月にバルセロナで開催される予定の第2回の運営委員会、その前に開かれる予定の各事業委員会への準備(事業計画、2008年の年次計画等の作成)が開始されている。

8月末には新たにスペインから派遣された専門家(Dr.J.Molla)が家族と来日し六ヶ所村に居を構えた。今後、続々と来日する欧州からの研究者及び家族のための教育等の環境整備も、青森県や六ヶ所村の支援の下進められている。

2. 六ヶ所 BA サイトの準備状況

国際核融合エネルギー研究センターでの業務は順調に進められており、実施機関としての建屋及びサイト整備の実施設計を機構の建設部と協力して進めている他、電力、水道、等のユーティリティの準備を関係各方面と協議して進めている。

5月初旬から始まった六ヶ所村のBAサイトの予定地の造成工事(抜根、整地等)は、ほぼ終了し、区画、雨水排水路、仮設道路等の整備が写真のように完成している。

一方、地元理解促進活動の一環として原子力機構が直接、地元住民へ幅広いアプローチ活動について説明する機会を設けるための説明会を10月中旬～11月初旬に六ヶ所村の各地区において実施することとなった。

(日本原子力研究開発機構核融合研究開発部門)

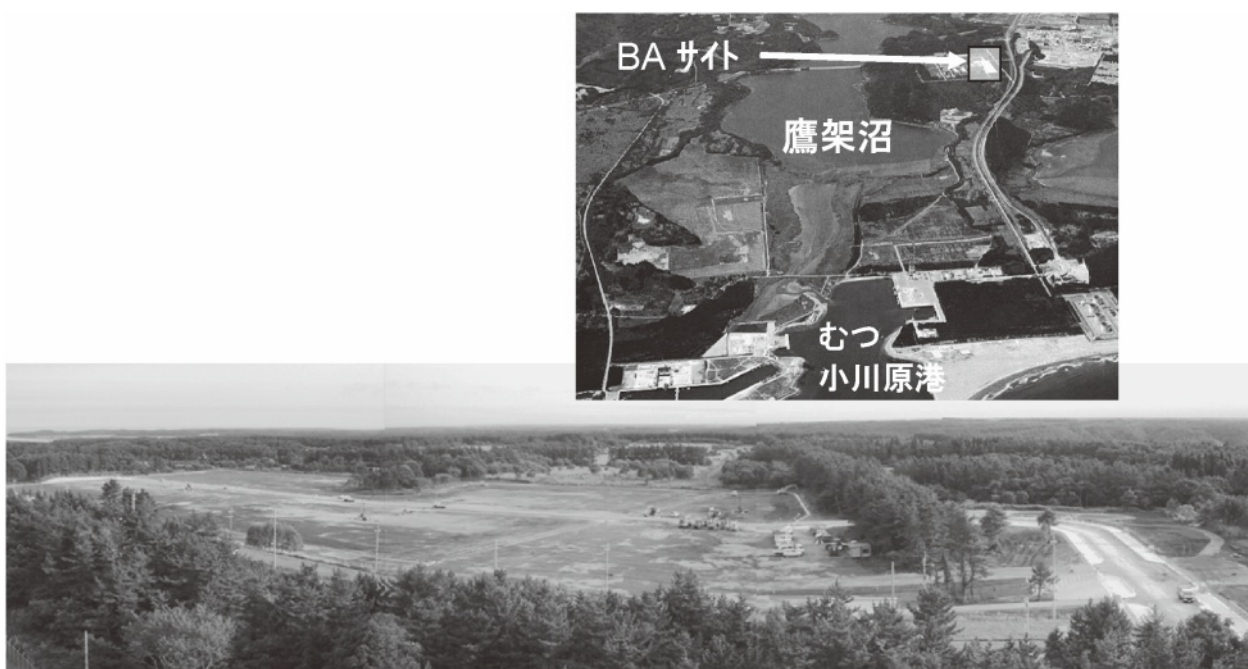


図1 六ヶ所 BA サイトの様子(平成19年9月)